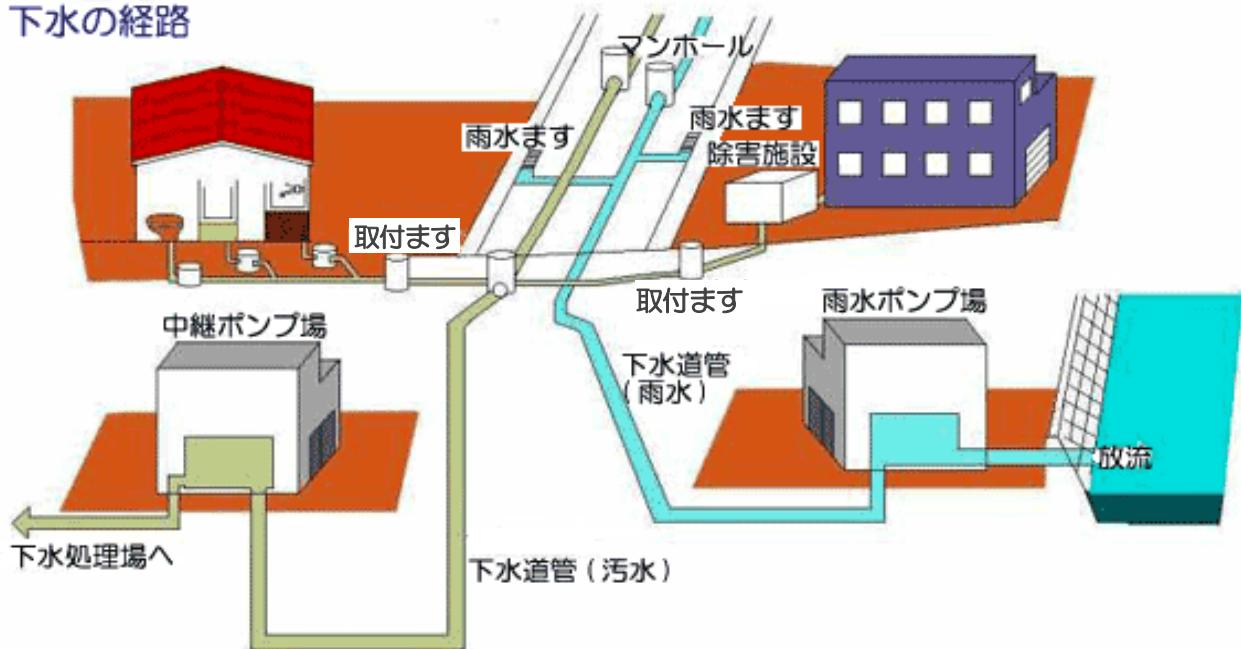


● 下水道のしくみ

下水を下水処理場まで運ぶ方法には、汚水と雨水と同じ下水道管に流す「合流式」と、別々の下水道管に分けて流す「分流式」とがあり、玉野市は分流式を採用しています。

家庭や事業所から排水される汚水は、各家庭や事業所に設けられた排水設備から公共ます(汚水ます)に流れ込み、下水道管を通じて処理場へ運ばれ、処理されてきれいな水になった後、海などに放流されます。

下水の経路



取付ます	宅地内の排水管と下水道管からの取付け管をつなぐ「ます」です。 取付け管の点検や清掃のために必要となります。
雨水ます	道路などに降った雨を集める「ます」です。
マンホール	下水道管の点検および清掃のための出入口となります。
下水道管	下水は自然勾配を利用して流すため、下流に行くほど、埋設の深さが深くなります。
ポンプ場	埋設される下水道管が深くなると維持管理などが困難となるため、中継ポンプ場を設置することで、下水を地表近くまでくみ上げ、再び自然勾配で流します。 また、雨天時に下水道管(雨水)に流れ込んだ雨水を速やかに川などに排除するのが、雨水ポンプ場です。